

インドネシア共和国移住労働者保護省との覚書の締結及び 「インドネシア人材受入促進に向けた意見交換会」の開催について

宮城県は、**8月20日（水）**の「インドネシア人材 みやぎジョブフェア2025」の開会式の中において、**インドネシア共和国移住労働者保護省との間で、インドネシア人材の育成・送出し・受入れに関する覚書の締結**を行うこととなりました。

また、ジョブフェアの開催前日となる**19日（火）**に、インドネシア共和国からお招きする送出し機関等及び県内業界団体、庁内関係部局による**「インドネシア人材受入促進に向けた意見交換会」**を開催します。

報道機関の皆様におかれましては、是非御来場の上、広く情報発信に御協力ください。

1 インドネシア共和国移住労働者保護省との覚書の締結概要

(1) 日程 令和7年8月20日（水） 午後1時～（ジョブフェア開会式典内）

(2) インドネシア共和国からの主な出席予定者

移住労働者保護省 **アブドゥル・カディル・カルディン 大臣**

ドゥウィ・セティアワン・スサント 海外雇用機会促進・活用総局長

駐日インドネシア共和国大使館 マリア・レナタフタガ 臨時代理大使

(3) 締結内容のポイント

イ 目的

宮城県における産業人材の確保を図るため、**特定技能制度**に基づき宮城県で就労するインドネシア人材の育成、送出し及び受入れを促進すること

ロ インドネシア側の実施内容

- ・ インドネシアの**送出し機関等が実施する日本語教育や技能講習の充実**に向けた支援
- ・ 日本の就労・社会文化について出国前に理解を深めるオリエンテーションの開催

ハ 宮城県側の実施内容

- ・ 県内で就労予定のインドネシア人に対して出国前に行う日本語講座の支援
- ・ **ジョブフェア等**を通じて、宮城県で働くインドネシア人材の受入を促進

(4) 締結の経緯

- ・ 令和6年10月にインドネシアで新政権が発足。令和7年1月に省庁再編があり、**海外移住労働に関して、労働省から移住労働者保護省に移管**されたため、従来、覚書を締結していた労働省に加えて、移住労働者保護省とも覚書を締結するべく調整してきた
- ・ 移住労働者保護省との覚書は、**日本の自治体としては宮城県が第一号**となる見込み

2 「インドネシア人材受入促進に向けた意見交換会」概要

(1) 日程 **令和7年8月19日（火） 午前9時30分～正午（受付開始 午前9時）**

(2) 場所 仙台サンプラザ 3階クリスタルルーム（仙台市宮城野区榴岡5丁目11-1）

(3) 参加者 インドネシア共和国の送出機関・P3MI、県内業界団体、宮城県

(4) 内容

宮城県側から、外国人材受入施策、県内の外国人材の需要や生活・就労環境を紹介し、インドネシア側から、人材の能力、希望業種や日本の生活に関する課題などを共有いただき、意見交換を通じて、**インドネシアの皆様、宮城県で安全で安心した実習・就労ができると感じていただき、優秀な人材の送出しの促進を図るもの**

(5) 想定スケジュール

午前9時30分～ 主催、送出機関代表あいさつ、宮城県の外国人材受入施策

午前10時5分～ 業界団体によるプレゼンテーション、質疑応答

午前11時15分～ 意見交換